

令和2年度

堺市立加茂小学校

# 道徳だより

6月の「道徳の日」に向けたの授業の様子を紹介します。



## 1年生『めだかのめぐ』

足のけがで上手く泳げないめだかのめぐは、小学校生活に不安を抱いていました。しかし、友達の優しさに触れ、学校が大好きになりました。そして、みんなのために黒板をきれいにします。クラスが大好きになるために、どんなことをしたいか、ペアで考えました。みんなと遊ぶ、困った人がいたら助ける、笑顔、友達を待ってあげる、協力する、きれいにする、みんなが喜ぶことをするなど、1年生なりによく考えて、いろいろな意見を出しました。これから頑張り週間を通して、みんなのために、がんばることでしょ。

## 4年生『心の信号機』

ぼくは交差点で渡ろうとする目の不自由な人に出会いました。なかなか渡れず困っていると声をかけようか悩むぼく。クラスでそんなぼくの気持ちの葛藤について考えました。親切にすることで自分の気持ちがどのようにになるのか、また、親切の輪はどのようにしたら広がるのか。そして、今自分たちができる親切って一体何だろう…。道徳の時間を通して、しっかりと今の自分と向き合っていることややってみようことについて考えました。これから4年生の中で親切の輪が広がればと思います。

## 今月のテーマ「よいことを進んでしよう」について

臨時休業が明け約4週間。子どもたちの生活リズムも整い、マスクの着用、手洗いの徹底といった新しい生活様式に子どもたちは順応しつつあります。教室や運動場には元気な声が響くようになり、学校に活気があふれるようになりました。しかしながら、子どもたちが楽しみにしていた行事が見直されるなど、学校生活の再開にあたり、難しさを感じる場面も見受けられ、まだまだデリケートな日々を過ごしています。

さて、今月のテーマは「よいことを進んでしよう」です。先日、6年生が1年生を迎える会を行いました。これまでは全校生が集まって実施していた取り組みでしたが、今年は臨時休業の影響で行えず、新たに学校の一員になる1年生にとっても、最上級生となる6年生にとってもデビューができていない状態でした。そこで6年生は手紙や折り紙のプレゼント、宝探しゲームといった1年生が嬉しくなるような会を計画・準備し実践しました。プレゼントを渡すまでは、喜んでくれるか不安そうな6年生でしたが、1年生の喜び顔や「ありがとう」の言葉を聞いて、6年生も安堵の表情を浮かべます。準備で苦労した分だけ相手に気持ちが伝わり、相手喜んでくれたことで自信を深めることができました。

相手の気持ちを考えて行った行動は、相手を嬉しい気持ちにさせるだけでなく、自分にとっても達成感や満足感を得られるものです。朝のあいさつやボランティア清掃、係や委員会の仕事など、学校には「親切」を伝えられる場面が数多く存在します。その中で、善い行いを通して大きく成長して欲しいと思います。まさに情けは人の為ならずなのです。

(写真は1年生を迎える会より)



..... <感想をお願いします> .....

( )年

--